

新型コロナウイルス感染症への対応
～子どもたちの居場所確保に係る適切な環境維持のために～

日本薬剤師会 学校薬剤師部会
部会長 村松章伊

新型コロナウイルス感染症対策に関連し、「新型コロナウイルス感染症防止のための小学校等の臨時休業に関連した放課後児童クラブ等の活用による子供の居場所の確保について」（令和2年3月2日、文部科学省、厚生労働省）が発出されています。

- 1 子どもの居場所確保に向けた取組方策、
(3) (1) 及び (2) を通じた留意事項
- ・児童生徒等が利用する施設については、児童生徒等の安全を確保する観点から、**別紙資料等を参照し**、衛生管理に十分留意すること。その際、消毒液の確保等、衛生管理について関係者が連携して取組を行うこと。
 - ・家庭や地域の実情を踏まえ、施設を利用する児童生徒等に対して学校給食の調理場や調理員を活用して昼食を提供することも考えられること。

下記では、**別紙資料**の中の、「2 環境衛生管理の留意事項」の「②適切な環境の保持」及び「③教室等の清掃」について、特に注意いただきたい点を解説します。また、「3 昼食をとる際の留意事項」の「①食事前の手洗い等の徹底」についても関連で解説します。

記

別紙「子どもの居場所の確保に係る衛生管理について」

「2 環境衛生管理の留意事項」の

「②適切な環境の保持」

教室等の適切な環境の保持のため、1時間に1回（5～10分）程度窓を広く開け、こまめな換気を心がけるとともに、空調や衣服による温度調節を含めて温度、湿度の管理に努めるよう適切な措置を講ずる。

適切な環境の保持にあたり、エアコンがある場合、ない場合について解説します。

【エアコンを稼働した場合】

パッケージエアコンはそれ自体換気をほとんど行わないことから、必ず換気扇等を稼働させると共に外側前後の窓等を一部開けます。また、廊下側欄間等を開ける。さらに、ドアの欄間等に目張りがしてある場合は撤去します。

そして、授業時と同様に、1時間に1回（5～10分）程度窓を全開して換気します。学校環境衛生基準ではCO₂で1500ppm以下とされていますが、特定建築物等の空気環境を規定する建築物環境衛生管理基準では1000ppm以下となっていることも考慮し、確実に換気が行われるよう注意します。

【自然換気（エアコンがない、稼働しない場合）】

自然換気の場合、換気扇があれば稼働させるとともに、換気扇がない場合も含め窓を適切に開けて換気に努めます。また、ストーブ等、燃焼機器がある場合は特に換気に注意します。

別紙「子どもの居場所の確保に係る衛生管理について」

「2 環境衛生管理の留意事項」の

「③教室等の清掃」

教室やトイレなど児童生徒が利用する場所のうち、特に多くの児童生徒が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、1日に1回以上消毒液（消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム等）を使用して清掃を行う。

※ 次亜塩素酸ナトリウム消毒液で清拭する場合の注意点

次亜塩素酸ナトリウムで清拭する場合、**次亜塩素酸ナトリウム（塩素濃度 0.05%～0.5%）**で浸すようにペーパータオル等で拭いた後、水拭きを行う。消毒を行うときは、十分に換気を行うなど、使用する塩素剤の注意事項をよく読んで行うこと。

※ 0.05%次亜塩素酸ナトリウム液を調整する際に使用できる市販品の一例

医薬品 : ピューラックス次亜塩素酸ナトリウム 6%

雑貨 : ハイター 6%
キッチンハイター 6%

参考:

医薬品 : ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム製剤
ミルトン液&錠剤

表1. 消毒剤の種類と用途および対象微生物等

	用途別			消毒対象微生物等	
	手指皮膚	金属器具	非金属器具	一般細菌	H I V
次亜塩素酸ナトリウム	△	×	○	○	○
消毒用エタノール	○	○	○	○	○
イソプロピルアルコール	○	○	○	○	○
ポピドンヨード	○	×	×	○	○
塩化ベンザルコニウムエタノール	○	○	○	○	○
クロルヘキシジン含有のエタノール	○	○	○	○	○
両面活性剤	○	○	○	○	—

表1にあるように、ウイルスにも効果のある消毒剤としてエタノールは非常に使いやすい消毒剤ではあるが、他のアルコール製剤を含め、昨今では入手困難となっている。そこで、非金属部分については次亜塩素酸ナトリウム液（塩素濃度 0.05%～0.5%）を用いた消毒を行うことで貴重な消毒用アルコールを長持ちさせてはどうだろうか。次亜塩素酸ナトリウム液は市販のキッチンハイター（塩素濃度 5～6%）が入手し易いが、使用上の注意を守らないと効果がなかったり、健康被害を起こすこともある。

【次亜塩素酸ナトリウム液使用上の注意】

- ・ 使用時は必ずゴム手袋を着用し、できればマスク、保護メガネの着用が望ましい。
- ・ 塩素剤は開封後徐々に力価が下がるので、新しいものを使う。
- ・ 希釈は正確に行う。
- ・ 希釈した次亜塩素酸ナトリウム液は一日で使い切り、保存しない。(原液についても高温・直射日光を避けて保管)
- ・ 使用時は窓等を開け、風通しを良くして使用する。
- ・ 希釈液で清拭後に水拭きをする。
- ・ 金属部分に使用することも可能だが、錆防止のために使用後に水拭きし、更に乾いた布等で水分をふき取ることで錆び難くしておく必要がある。

・噴霧及び手指への使用は絶対に禁止！

【消毒用アルコール使用時の注意】

- ・ **火気厳禁！**
- ・ 窓等を開け、風通しを良くした状態で使用する。
- ・ 消毒用アルコール使用時もビニール手袋、保護メガネ、マスクの着用が望ましい。
- ・ アルコール噴霧後は自然乾燥させる。

※ 手洗いの効果を見直そう！

速乾性手指消毒剤は手に入れにくい状況が続いています。しかし、今こそ手洗いの効果を見直してください。正しい手洗い（参考1）はアルコール消毒とほぼ同等の効果のあることが分かっています。手洗い習慣の意識づけは衛生習慣の基本です。

表2にあるように正しい手洗いを2回繰り返せば中途半端なアルコール消毒よりも除菌効果は高くなっています。参考2、ではある小学校で手洗い指導にATP検査を利用して、手洗いの効果を児童に体験していただいた結果を示しています。子供たちに実体験していただいた結果からも手洗いの有効性が実証されました。

速乾性手指消毒剤は水のない場合には便利で有効な消毒剤ではありますが、今実際にできる方法で感染症予防をしていただきたいと思います。

アルコール製剤入手困難による不安から、効果不明な除菌剤や消毒剤は使用しないでください。今回ここでご紹介しているものは国の指針に沿ったものであり、効果についても実証されています。効果を期待して、正しいエビデンスのない雑貨類を使用してもその製品に効果がなかったとしたら大変なことになりかねません。

学校には学校医、学校歯科医、学校薬剤師という医療の専門職がいます。不安を感じたら必ずそれらの方にご相談ください。

今回の感染症が沈静化するにはまだまだ時間がかかりそうです。正しい感染症予防で感染者のクラークを作らないようにしていただきたいと思います。

《参考1》正しい手の洗い方（厚生労働省ホームページより）

感染症対策へのご協力をお願いします

手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。
外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

- 1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 2 手の甲をのぼすようにこすります。
- 3 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 4 指の間を洗います。
- 5 親指と手のひらをねじり洗います。
- 6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

厚生労働省

表2. 手洗いの効果

手洗いの方法	残存ウイルス数（残存率）
手洗いなし	約1,000,000個
流水で15秒手洗い	約10,000個（約1%）
ハンドソープで10秒又は30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	約100個（約0.01%）
ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	約10個（0.001%）
ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返す	約数個（約0.0001%）

出典：森功次郎ほか:感染症学雑誌 80:496-500.2006



《参考2》ATP 検査による小学校での手洗い教室での結果